

2020年の一橋大学

〈近年の問題講評〉

- 設問本文自体は相変わらず、意味不明のポンコツ文章だが、解答を見てみると普通の論述問題になっている。
- 広い時代や広い地域のタテとヨコの問題 → **2~3単元の時代や地域限定的な出題** へ移行しつつある。 *つまり、真面な問題…油断はできないが…。
- 400字×3問、400字×2問と200字×2問がスタンダード。
- 過去問の徹底は最重要課題 ⇒ 400字出題の他大学と同様に**長文添削学習よりも模範解答のパーツ分けを学習の中心**とすべし。
- 私大的な単語量が必要になってはいるが、決してハイレベルではないので**用語集の赤字レベル**の知識で十分。
- 政治史は易しいが、**社会経済史や文化史関連**の論述は手強いので、世界史で高得点を狙いたい人はその分野・テーマを徹底したい。
- 古代~中世、近世~近代、近現代というバランス
- **流れと結末や歴史的意義を出題してくる問題**(毎年半分程度)については、下記の単元や分野をじっくりと教科書を熟読しておこう！
- へなちょこ問題に備えて、**教わった分野や単元の歴史観**を持っておこう！なぜ、我々は歴史を勉強するのか？歴史から読み取れることは何か？面白さは何か？など…
- **大阪大学・名古屋大学・信州大学・筑波大学**に類似問題がある！模範解答を暗記するのではなく、同時代の世界観や比較文化的な感覚を身に付ける必要がある。史料集などを有効に利用して、歴史の背景や流れを理解しよう。
- ここ数年、**出来事の流れ(背景⇒経過⇒結果⇒影響)**を問う出題が増えつつあることから、**京大**の問題に類似してきている気がする。

〈頻出&狙われやすい単元&分野〉

1. 古代~中世のヨーロッパ … 前2~1世紀・3世紀・5世紀・11世紀・14世紀などの変化する時代
2. イスラーム世界の拡大(多方面への:西サハラ・イベリア・中央アジアなど)
3. モンゴル帝国の影響(ヨーロッパ・イスラーム・中国・ヒトやモノの交易)
4. インドや東ティモールやアイルランドなどの宗教政策と民族分断と支配
5. フランク王国 → 神聖ローマ帝国 → ドイツ&オーストリア史
6. ビザンツとイスラームの関係と影響

7. 独仏対立と露仏対立の歴史 … 特に 19 世紀以降には注意！
8. アメリカの外交と中南米への影響 … 特に 19 世紀後半、世界恐慌期、戦後の世界
9. ロシアと社会主義諸国の動向 … 社会主義の拡大と挫折と崩壊
10. アメリカの単独行動主義と具体的な事件 … 冷戦後の超現代史
11. 南アフリカ史 … ケープ植民地～アパルトヘイト基幹三法の撤廃
12. 黒人・奴隷問題 … テーマ史で学習すべし *時代・地域が広いので注意
13. 朝鮮半島史(主に近現代史～秀吉の朝鮮出兵あたりから後の歴史)
14. 核抑止と環境問題
15. ナショナリズム(&分離主義)
16. グローバリズム(世界の 2 度の一体化とその光と影) *16～17世紀と 19 世紀
17. ○○○同盟に関する歴史 *背景や目的や対立など
18. 女性の活躍と参政権
19. 辺境地域史(イベリア半島・バルカン半島・シチリア島・セイロン島・ジャワ島・カリブ海・ポーランド・ハンガリー・オランダ・ベルギー・エジプト・ベトナム・モンゴル・チベットなど)
20. 狙われる都市(ベルリン・ウィーン・イスタンブル・バグダード・北京・広州など)